1.3. 基本ルール

これらは汎語の基本ルールです。 ページの後半で詳しく説明していきます。

1. 綴りは発音に忠実です。
2. アクセントは単語の最後の子音の前の音節に置かれます。
3. 単語は語幹と1つ以上の接尾辞で構成されます。 最後の接尾辞は単語が属する単語の種類を表します。
   - 形容詞は ‐**i** で終わります。 例) nov**i** = 新しい
   - 副詞は ‐**o** で終わります。 例) nov**o** = 新しく、新たに
   - 能動詞は ‐**a** で終わります。 例) me log**a** = 私は話します。
   - 受動詞は ‐**u** で終わります。 例) le log**u** = それは話されています。
   - 名詞は ‐**e**, ‐**ia** または品詞語尾なし(子音)で終わります。
4. 名詞は対象や修飾詞によって単語が変化することはありません。
5. 形容詞は修飾する単語の前に置きます。 ごく一部の例外を除いて形容詞は ‐**i** で終わります。
   - 例) rapid**i** loge = 早口の演説
6. 副詞は動詞、形容詞、他の副詞、および文全体を修飾します。 修飾する単語の前に来るか、文の最後に来ます。 ごく一部の例外を除いて副
   ‐**o** で終わります。
   - 例1) ver**o** rapidi loge = とても早口の演説
   - 例2) te loga bon**o**. = あなたはよく話します。
7. ‐**a** で終わる動詞は能動的(=能動詞)であり、 動作の対象が動詞の直前にあることを示します。
   - 例) me niam**a** aple. = 私はリンゴを食べます。
8. ‐**u** で終わる動詞は受動的(=受動詞)であり、 動作の対象が動詞の直前にあることを示します。
   - 例) aple niam**u**. = リンゴは食べられた。
9. 依存文では 他動詞の目的語が次の動詞の主語として機能します。
   - 例) **me pliza te dona pese.** = 私はあなたにお願いします + あなたはお金を与えます = 私はあなたがお金をくれるようお願いします。
10. 代名詞の対象が明確で、冗長に感じる場合は省略できます。
    - **me** eska te baxa panlingue? → eska te baxa panlingue? = あなたは 汎語を話せますか?
    - **me** pliza te loga mingo. → pliza loga mingo. = はっきりと話してください。
11. 複合語は複数の語幹を並べて形成されます。 結合される単語が母音で始まる場合を除き、結合母音 ‐**o**‐ が語幹の間に挿入されます。
    - 例1) **hur**‐(自由) + **ist**‐(提唱者) → **huriste**(自由主義者)
    - 例2) **post**‐(郵便) + **gany**‐(得る) + **sanduk**‐(箱) → **postoganyosanduke**(郵便受け) # 汎語の文字と発音

汎語では基本ラテン文字を使います。 以下がその文字とIPA(国際音声記号)、X-SAMPA(拡張SAM音声記号)で表した発音です。

汎語	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	r	s	t	u	v	x	y	z
IPA	a	b	t⊠	d	e	f	g	h~x	i	d⊠	k⊠	l	m	n	o	p⊠	r~⊠	s	t⊠	u	w~v	⊠	j	z~
X-SAMPA	a	b	tS	d	e	f	g	h~x	i	dZ	k_h	l	m	n	o	p_h	r~r\	s	t_h	u	w~⊠~v	S	j	z~

汎語はスペイン語と似ていて、つづり通りに発音します。無音の文字はありません。 どの文字にも1つの音があり、一部の例外(後述)を除いて他

子音

```
p  b  f     m  v
t  d  s  z  n  l  r
c  j  x        y
k  g  h
```

ほとんどの発音は 英語と同じです。

以下の子音は英語とは異なります。

- **c** はチョコレートの「チ」に近いです。
- **x** はシェルの「シ」に近いです。
- **g** は常に**ガ行**です。ヂャ行には**なりません**。
- **r** は英語の **r** から、べらんめえ調の **r** までが許容されます。
- **h** は英語の **h** から、バッハの「ッハ」までが許容されます。
- **s** は常に**サ行**です。シャ行には**なりません**。

以下の子音は例外的な発音です。

- **n** の後に続く文字が k か g の場合、 **n** の発音は /⊠/ に変化します。
  - 語尾が ‐**ng** の場合、 g の発音を無音にしても構いません。例えば **pang** なら /pa⊠/ と /pa⊠g/ どちらの発音も可能です。

半母音

語尾に来る **y** は /i⌧に、 **v** は /u⌧になります。
day ダィ
ma**v** マゥ

これらの後には 必ず完全母音か単語の区切りが続きます(単語の語幹が使われる場合)。
ma**w** tena na**w** ha**y**. = 猫には9つの命がある。

母音

汎語には5つの母音があります。

```
←⌧ ⌧→
i       u
  e   o
    a
```

発音は日本語の**ア、エ、イ、オ、ウ**とほぼ同じです。

- **a** は「ア」よりも少し唇に近いところで発音します。
- **i** は「イ」よりも口を横に広げます。
- **u** は「ウ」よりも口を丸めます。

二重母音

2つの母音が隣り合っている場合、 それらは一緒に滑って二重母音になります。

たとえば **a** と **i** は **mais** /mai⌧ という単語の中で二重母音となります。 母音は **a** で始まり、徐々に **i** へと滑っていきます。 **may** /mai⌧こも同様の二重母音があります。

強調

最後の子音の前の音節を強調します。

次の例を考えてみましょう。

- **mav** /máv/, **hotel** /hotél/
- **novi** /nóvi/, **musike** /musíke/, **arabi** /arábi/
- **dunia** /dúnia/, **arabia** /arábia/

  dunia si momi sundari planete.
  /dúnia sí mómi sundári planéte./

  me vola loga komuni baxe, le si panlingue.
  /mé vóla lóga komúni báxe, lé sí pandúnia./

小文字と大文字

通常汎語は小文字でしか書きません。 大文字も禁止されてはいませんが通常は使いません。

大文字とその使用に関するルールが 不要な理由は3つあります。

1. 文字は音声を表すものであり、 固有名詞などの頭文字には「大文字」の音がありません。
2. 世界の大半の文字やアルファベットは一種類の文字しかありません。
3. 小文字だけを使う方が簡単。規則や例外は必要ありません。

注: 大文字を使うのは間違いではありません。 他の言語では大文字に慣れているため使うことがあります。 しかしそれでも大文字は不要ですし、

大文字は国際標準頭字語に使われています。 例えば、10MB (des megobite)、100GB (hon gigobite)、2㎜ (dul milometre)、1kJ (un kilojul)などです。

文節法

[-]　ハイフンを使って単語を音節に分割することができます。　ハイフンは話し言葉の音節の間に置かれます。例)　bin,　ka-fe, yu-mor, pos-ta.

句読点と引用符

[.] あらゆる種類の文は**ピリオド**で終わります。文末に省略表現が来てピリオドが2つ以上になる場合、ピリオドは1つです。

[?] 疑問文は**疑問符**で終わります。

[!] **感嘆符**は声の大きさや感情を表します。数が多いほどより強調します。

[...] **3つのピリオド**または三**点リーダー**(...)は、その後ろの文章が省略されていることを表します。

[:] **コロン**は説明やリストの先頭を示します。コロンの右側には1文字分の空白を作り、左側には空白を入れません。

[,] **カンマ**は節やリストされた項目の間の小休止や区切りを示します。カンマの右側には1文字分の空白を作り、左側には空白を入れません。

["] **引用符**は主に発言や重要なことを強調したいときに使います。引用文の中で引用符を使う場合は外側に二重引用符を使います。文末に引用文が
loga, "yi maw ke?"! のような書き方はできません)。半角、全角、どちらの引用符を使っても構いません。印刷物のような整ったデザインを好む

友人とのやりとりなど、くだけた文章ではスマイリー、顔文字、絵文字を使って感情を表すことがあります。 例えば **:)** は幸せを、
:(は悲しみを表します。

me vida te :) = 私はあなたを見ます。
me no vida te :(= 私はあなたを見ません。

実際にはこれらの記号を組み合わせて使うこともあります(「!?」など)。

以下は学習に必要ありません。

単語の構造

汎語で最も一般的な単語構造はCVCVで、 Cは子音、Vは母音です。

最も重い単語はCLVCCLVCで、Lは流音(lまたはr)ですが、 実際にはそのような単語は存在しません。 実際に最も重い単語としては
kristal や **simpli** などがあります。

頭文字の子音は制限されています。

1. 任意の単一子音
2. 破裂音 + 流音
   - pl, bl, kl, gl
   - pr, br, tr, dr, kr, gr
3. 摩擦音 + 流音
   - fl, sl, zl, xl
   - fr

単語中の子音は制限されています。

1. 鼻音/側面音/接近音(m, n, l, r) + 破裂音/破擦音
   - mp, mb, nt, nd, nk, ng, nc, nj
   - lp, lb, lt, ld, lk, lg, lc, lj
   - rp, rb, rt, rd, rk, rg, rc, rj
2. 鼻音/側面音/接近音 + 摩擦音
   - nf, ns, nz, nx
   - lf, ls, ls, lx
   - rf, rs, rz, rx
3. 摩擦音 + 破裂音
   - ft, fk
   - st, sp, sk
   - zd, zb, zg
4. 摩擦音 + 鼻音/側面音/接近音
   - sm, zm, xm, hm
   - fn, sn, zn, xn, hn
   - fl, sl, zl, xl, hl
   - fr, hr
5. 破裂音 + 歯擦音
   - ps, bz, px
   - ks, gz, kx

6. 鼻音/側面音/接近音 + 鼻音/側面音/接近音/半母音
    - ml, nv, ny
    - lm, ln, lv, ly
    - rm, rn, rv, ry
7. 鼻音/側面音/接近音 + 半母音 + 破裂音
    - 例) lsk
8. 鼻音/側面音/接近音 + 破裂音 + 流音
    - 例) ngl
9. 鼻音/側面音/接近音 + 摩擦音 + 流音
    - 例) lfr
10. 歯擦音 + 破裂音 + 流音
    - 例) str
11. 破裂音 + 流音 (前項参照)

許可されている語尾の子音群は以下の通りです。
h, l, m, n, ng, r, s, v, x, y

さらに人名、地名、文化的概念の固有名詞、およびそれらから派生した単語は、 単語内に2つまたは3つの子音群を含まない限り
任意の群を含むことができます。

1. 2つの連続した破裂音/破擦音/異なる音の摩擦音
    - 例) fg
2. 2つの連続した歯擦音/破擦音
    - 例) sc
3. 2つの連続した同一子音
    - 例) mm # 汎語の文法

概要

1. はじめに

このページでは汎語の単語の種類と単語の順序の型式を学びます。 但しこの文法を読まずに汎語を学ぶ事は可能です。 例えばフレーズ集や辞書の

すべての語学教師は生徒が慣れていない区別をしなければならないとき、 言語を学ぶのがより難しくなることを知っています。
そのため学生は不規則なスペル、大文字小文字の変容、必須時制、アクセント、 名詞と形容詞の一致、敬語の変容、子音と母音の調和、必須の性
問題を抱えているのです。

汎語を学ぶのは難しくありません。 前述の複雑さはありません。 代わりに単純で規則的な文法、比較的単純な語彙、単純な音声表記があります

2. 品詞

品詞は文法上の性質や振舞いに基づく語の分類です。 大半の品詞は単語の末尾、特に最後の母音で示されます。これを**品詞語尾**と言います。
例えば - **a** で終わるほとんどの単語は動詞です。

品詞は大きく分けて内容語と機能語に分類されます。 内容語はほとんどの情報と意味を伝えます。 機能語は文法に必要なものです。
内容語がなければ意味のあることを言えませんが、 特に長い文では内容語をまとめるために機能語が必要です。

汎語の主な内容語は名詞、動詞、修飾詞です。 同様に主な機能語は代名詞、限定詞、前置詞、後置詞です。

内容語の品詞語尾は以下のようになっています:

- - **e** 名詞を表します。
- - **i** 形容詞を表します。
- - **o** 副詞を表します。
- - **a** 能動詞を表します。
- - **u** 受動詞を表します。

例えば **log** - は名詞 log**e**(話) の語幹です。語幹とは品詞語尾を除いた単語の基本構成を表します。 形容詞では log**i**(口語の、口頭の)、副詞では
log**o**(口頭で)、 能動詞では log**a**(話す)、受動詞では log**u**(話された) となります。

機能語の品詞語尾は 以下のようになっています:

- - **e** 代名詞を表します。
- - **i** 限定詞を表します。
- - **o** 副詞を表します。
- - **a** 前置詞を表します。

- ‐**u** 後置詞を表します。

例えば **k**‐ は疑問代名詞 k**e**(何) の語幹です。 副詞では k**o**(どのように)、限定詞では k**i**(どちら) になります。

数詞の1〜9および0は母音で終わりません。

固有名詞は汎語の品詞語尾に従う必要はありません。 そのため上記の品詞語尾を持っているとは限りません。 たとえば Marie(マリー) という名前は汎語では **mari** になりますが、 単語は名詞として扱われ、形容詞としては扱われません。 これは混乱を招くかもしれ 混乱を避けるために名詞語尾を使うよう名前を変更することを推奨します。 もしくは mari-**san** のように名誉接尾辞 **san** を使います。 ## 2. 名詞

2.1. 活用はありません

名詞はものに名前を付ける品詞です。 他の品詞同様に活用はありません。 単数/複数、定型/不定型、どのような場合でも同一の単語が使われます

petre – 石、その石、複数の石、その複数の石
meze – テーブル、そのテーブル、複数のテーブル、その複数のテーブル
kurse – 椅子、その椅子、複数の椅子、その複数の椅子
suy – 水

数詞と明確さは議論の初期段階及び一般的な知識としてよく知られています。 例えば **sole** は通常「太陽」を表し、 **lune** は唯一の太陽と月である「月」を表します。 (訳注:SFのような複数の惑星系が出ない限り、 **sole** と **lune** はその文章の世界観が示す単一の太陽と

2.2. 数量の表し方

数が1つであってもたくさんであっても影響を受けません。 必要に応じて数詞で表す事も出来ます。

kurse – 椅子、複数の椅子
un kurse – **1つ**の椅子
dul kurse – **2つ**の椅子
tin kurse – **3つ**の椅子
pol kurse – **たくさん**の椅子

2.3. 性別

文法上の性別表現はありません。

明示する場合は一部の単語を使って表現できます。 たとえば **fem** は女性で、 **man** は男性です。 # 修飾詞

修飾詞は別の単語に品質や説明を追加する品詞の総称です。 例えば「良い」、「悪い」、「大きい」、「速い」がそうです。

1. 名詞の修飾

形容詞は名詞を修飾します。 通常 ‐**i** で終わり、名詞の前に置かれます。

novi gare – **新しい**車、複数の**新しい**車
rapidi gare – **速い**車、複数の**速い**車
day meze – **大きな**テーブル、複数の**大きな**テーブル
gawi meze – (高さが)**高い**テーブル、複数の(高さが)**高い**テーブル
bon kurse – **良い**椅子、複数の**良い**椅子

複数の形容詞で同一の名詞を修飾できます。

lil novi gare – **少し新しい**車

形容詞は名詞の後に置くこともできます。 多くの場合そのフレーズは完全な文として読むことができ、**何らかの動詞**が暗示されていると言えます

gare **novi**. – その車は**新しい**。
bagre **rapidi.** – その虎は(走るのが)**速い**。

勿論両方の名詞を修飾することもできます。

novi gare **rapidi.** – この新しい車は**速い**。 # 数詞

数値は数字や他の数詞で表せます。 それらは修飾する単語または句の前に置かれます。

un xing – **1つ**の星
dul xing – **2つ**の星
tin xing – **3つ**の星

xaw xing – **少し**の星
multi xing – **たくさん**の星

un day kurse – **1つ**の大きな椅子
dul day kurse – **2つ**の大きな椅子
tin bon kurse – **3つ**の良い椅子

序数は修飾する単語の後に置きます。

fen **un** – **最初**のパート(パート1)
fen **dul** – **2番目**のパート(パート2)
fen **tin** – **3番目**のパート(パート3)

基本的な数詞:

- 0 **nol**
- 1 **un**
- 2 **dul**
- 3 **tin**
- 4 **car**
- 5 **lim**
- 6 **sis**
- 7 **sem**
- 8 **bal**
- 9 **naw**

大きな数詞は単に数詞を1つずつ並べることで 簡単に表現できます。

- 10 **un nol** または **des**
- 11 **un un**
- 12 **un dul**
- 13 **un tin**
- 20 **dul nol** または **dul des**
- 21 **dul un**
- 22 **dul dul**
- 100 **un nol nol** または **hon**
- 101 **un nol un** または **hon un**
- 200 **dul nol nol** または **dul hon**

999を超える数値は国際単位系の倍数を使用できます。 例えばキロは千の倍数を表します。

- 1 000 **kil** キロ
- 1 000 000 **megi** メガ
- 1 000 000 000 **gigi** ギガ
- 1 000 000 000 000 **teri** テラ
- 1015 **peti** ペタ
- 1018 **eksi** エクサ
- 1021 **zeti** ゼタ
- 1024 **yoti** ヨタ

文脈から対象の数がいくつなのか推測可能な場合があります。 例えば **sole**(太陽) は、太陽が1つしかないため普通は1つの太陽のみを指します。
動詞

1. 動詞とは

動詞は行動や発生を表します。 例) 見る、食べる、話す、考える。

動詞には行動を起こす側と行動を受ける側がいます。 行動を起こす側は行動を実行もしくは行動を引き起こします。 行動を受ける側は行動の影響

汎語には2種類の動詞があります: ‐ **a** で終わる動詞と ‐ **u** で終わる動詞です。 語尾は文中で行動を起こす側と行動を受ける側の順位を決定します
これは文の構造が動詞の種類に依存することを意味します。

簡単に言えば、文末の ‐ **a** は次のことを意味します:
動詞の直前に何かがあれば、それは行動を起こす側です。
動詞の直後に何かがあれば、それは行動を受ける側です。

そして文末の ‐**u** は次のことを意味します:
動詞の直前に何かがあれば、それは行動を受ける側です。
動詞の直後に何かがあれば、それは行動を起こす側です。

例)
me **safa**. – 私は**掃除をします**。
me **safa** kamare. – 私は部屋を**掃除します**。
kamare **safu.** – 部屋は**綺麗になった(掃除された)**。
kamare **safu** me. – 部屋は私によって**綺麗になった(掃除された)**。

‐**a** と ‐**u** は互いに逆の語順を示しています。 ‐**a** で終わる動詞は能動的行動です。 ‐**u** で終わる動詞は受動的行動です。

2. 能動詞

‐**a** で終わる動詞は**能動詞**と呼ばれます。 語順は「S(主語)-V(動詞)-O(目的語)」です。

能動詞の主語は動詞が表す行動を実行します。 それは行動を起こす側です。 行動は目的語に対して実行されるため、 目的語は行動を受ける側で

例:
te **vida** ke? – あなたは何を**見ます**か?
me **vida** lole. – 私はそれらを**見ます**。
te **beka** pang. – あなたはパンを**焼きます**。

3. 受動詞

‐**u** で終わる動詞は**受動詞**と呼ばれます。 語順は同じく「S(主語)-V(動詞)-O(目的語)」です。 但し主語と目的語の役割は能動詞とは異なります。

受動詞の主語は動詞で示される行動を受けます。 目的語は行動の出所です。 (訳注:SはOによってVされる)

例:
pang **beku** te. – パンはあなたに**焼かれます**。
pakse **domisu** arbe. – 鳥は木を(住処として)**提供されています**。
te **suku** me. – あなたは私に**愛されています**。

時制詞

汎語では必要に応じて時間を時制と相で表現できます。 一般的な時制は **pas**(過去)、 **zay**(現在)、 **wil**(未来、近い将来) です。
形容詞のように働くため、通常は動詞の前に置きます。

me **pas** tena maw. – 私は猫を飼って**いました**。
a me no **zay** tena maw. – しかし**今は**(猫を)飼っていません。
ablo me **wil** tena maw. – 多分(猫を)飼う**でしょう**。

時制詞を文末に置くこともできます。この場合、時制詞は副詞として文全体を修飾します。

me tena maw **pas**. = 私は**前に**猫を飼っていました。
a me no tena maw **zay**. = しかし**今**は(猫を)飼っていません。
ablo me tena maw **wil**. = **いずれ**(猫を)飼うかもしれません。

sa pase(過去には) のように、相(時制を表す修飾句)を使って表すこともできます。

me tena maw **sa pase**. – 私は**かつて**猫を飼っていました。
a me no tena maw **sa zaye**. – しかし**現在は**(猫を)飼っていません。
ablo me tena maw **sa wile**. – **将来は**(猫を)飼うかもしれません。

注意: どの時制でも動詞は活用されません。 上の例では動詞 **tena** はどの時制でも同じままです。

時間は必要な場合にのみ言及されます。 時制が変わらない限り段落の冒頭で一度言及すれば済むはずですが、 混乱を招くと判断した場合は文単

9.4.1. 複雑な時制

me gida gare **sa pas un dure**. = 私は以前車を運転していた**ことがあります**。 (過去完了形。過去のある時期のみの出来事)

me justo sona **zay**. = 私は眠ろうとしています。 (現在進行未然。今まさにしようとしている)

me justo kaixa panduni darse. = 私は(ちょうど)汎語の学習を**始めたところです**。 (現在進行開始。ちょうど今始めた)

me justo fina panduni darse. = 私は(ちょうど)汎語の学習を**終えたところです**。 (現在完了形。ちょうど今終わった)

me lewo fina panduni darse. = 私は(既に)汎語の学習を**終えています**。 (現在完了形。もう〜した)

me **wil** kaixa panduni darse badoden. = (私は)明日には汎語の学習を始めている**でしょう**。 (未来進行形。未来のある時にしていること)

---

10. 前置詞/後置詞

10.1. 基本 (時間/空間/場所/起源/終着)

前置詞	後置詞	基本的な意味	訳例
sa	**su**	存在、場所、空間、期間	〜に、〜で、〜上で、〜によって、〜の間ずっと(期間に焦点)、〜の間に、他
na	**nu**	不在、不足、欠落	無い、いない
ca	**cu**	起源、始まり、原因	〜から、〜以来、〜なので、〜のため
pa	**pu**	行き先、終わり、最終目的	〜へ、〜に向かって、〜まで

前置詞が前置詞句の始まりです。 単純な前置詞句では代名詞または名詞句によって補完されます。

me **sa** hotel. - 私はホテル**に**います。
me sona **sa** hotel. - 私はホテル**で**眠っています。
me sona **ca** xame pa sube. - 私は夕方**から**朝まで眠っています。 (訳注:例えば「12時まで」と言った場合、英語と同様に12時を含まず11時59分5
me safara **ca** london **pa** paris. - 私はロンドン**から**パリ**へ**旅をします。
karibo ne zayu GitHub hafize **na** galte. - ミス**のない**GitHubリポジトリはほとんどありません。

前置詞は動詞句でも補完できます。 時間の例を示します。

me denga **ca** te gowa. - あなたが行って**から**待っています。
me denga **pa** te laya dome. - あなたが家に来る**まで**待ちます。
me denga **sa** te sona. - あなたが眠る**間**待ちます。

後置詞は文頭に置かれ、後置詞までが後置詞句となります。

sintowi mandire **pu** me. - 神社**に**私はいます。 (訳注:**sintowi**=niponi polodewisti=神道の、八百万の神の)
supe **cu** xame **pu** me **sa** dome. - 朝**から**夕方**まで**私は家**に**います。

10.1.2. sa

sa は多目的な前置詞です。その基本的な意味は「〜に(with)」です。

me libu **sa** dome.
(私は家と**共に**立っています)
私は家の**側に**立っています。 (訳注:日本語では例文からこの邦訳を連想出来ない)

me loga **sa** panlingue.
(私は汎語と**共に**話す)
私は汎語**で**話します。

me loga **sa** doste **sa** panlingue sa telofone.
(私は友達**と**電話**と**汎語と共に話す)
私は電話**で**友達**と**汎語で話します。

10.1.3. 前置詞としての動詞

一部の動詞は英語の前置詞のように機能します。

me **kata** pang. - 私はパンを**切ります**。
me **kata** pang, **uza** caku. - 私は**包丁**でパンを**切ります**。

me denga **dura** dul hore. - 私は(**この先**)2時間(の間)待ちます。

前置詞として使える動詞を以下に示します:

bada - 従う、後で、前に
dura - 最後まで、〜の間ずっと(継続に焦点)、〜の時間のために
jungu - 中心になる、〜の中で、〜に囲まれて、途中で、真ん中で
loka - 占める、位置する、〜で
sirka - 取り囲む、周り
supra - 超える、越える、上

10.1.4. 前置詞なしの動詞

汎語では英語ほど前置詞は使われません。 多くのフレーズで動詞は前置詞を内包します。

me **laya** dome. - 私は家に**帰ります**。
te **sida** kurse. - あなたは椅子に**座っています**。
le **lala** kanape. - 彼/彼女はソファーに**横たわっています**。
fixe **nata** dayosamude. - 魚が海を**泳いでいます**。
jenger **marca** daw. - 戦士達が道を**行進しています**。

10.2. 状態を表す前置詞

ko は行儀、作法、 様式、形式を表します。

me **jana** panlingue ko baxi darsogur. - 汎語を語学教師のように**知っています**。

ko は動詞または形容詞を比較条件に関連付けます。 例では **jana**(知っている)が 動詞であり、 **gure**(教師) が比較条件です。

ko は形容詞を比較する時にも使われます。

bace si min day ko **pape**. - その子供は父よりも小柄です。
law pape si sam day ko **pape**. - 祖父は父と同じくらい大柄です。

上の例は比較級 の **max**(より多く), **min**(より少ない), **samo**(同じ くらい) を **pape**(父) に関連付けます。

11. 単語の構築

汎語は単語の派生が行えるため、 新しい単語を作ることができます。 使用される接尾辞のほとんどは、 すでに国際的に使用されています。 語源の多くは古代ギリシャ語、ラテン語、アラビア語、ペルシャ語から来ています。

11.1. 品詞語尾

母音の語尾を使って素早く単語を派生させます。 単語の最後の母音は品詞を表します。 単語の語幹は一般的な考えを示し、母音の語尾はその考え
示します: 物(名詞)、説明(修飾語)、行動(動詞)。

以下の母音の語尾で品詞を識別します。

- - **e** は行動の概念と説明の概念から派生した名詞を表します。
- - **i** は形容詞を表します。
- - **o** は副詞を表します。
- - **a** は能動詞を表します。
- - **u** は受動詞を表します。

指定された母音の語尾は、ある品詞から別の品詞を簡単に導き出すことができます。 語尾を別の語尾に変えるだけです。

- 末尾の - e は概念を「もの(有機物/無機物)」に変換します。 例えば **nile** は「青色」を意味します。
- 末尾の -i は概念を説明に変換します。 結果の修飾句は修飾概念と共に別の概念を記述します。 例えば **nili dome** は「青い家」を意味します。
- 末尾の -a は概念を行動に変換します。 結果は概念を目的語に適用することに関するものです。 例えば **nila dome** は『家に青を塗る』、つまり「家を青くする」という意味です。
- 末尾の -u は -a と同様の行動を作成します。 唯一の違いは語順が逆になることです。

全ての語尾は、全ての概念に同じ方法で適用できます。

様々な種類の概念の例を以下に示します。

- 具体的な行動
  - kitab**e** 書き込み (名詞)
  - kitab**i** 書かれた、テキストの (修飾子)
  - kitab**a** 書く (能動詞)
  - kitab**u** 書かれる (受動詞)
- 抽象的な行動
  - fikr**e** 考え (名詞)
  - fikr**i** 考えの (修飾子)
  - fikr**a** 考える (能動詞)
  - fikr**u** 考えられた (受動詞)
- 説明
  - long**e** 長さ (名詞)

  - long**i** 長い (修飾子)
  - long**a** 長くする (能動詞)
  - long**u** 長くされる (受動詞)
- 道具
  - hama**r** ハンマー (名詞)
  - hama**ri** ハンマーの、ハンマーのような (修飾子)
  - hama**ra** ハンマーを打つ (能動詞)
  - hama**ru** ハンマーに打たれる (受動詞)

11.1.2. 動詞を導き出す

‐**a** と ‐**u** は動詞の語尾です。

1. 語幹の概念が行動である場合、その動詞形式は「行動を実行する」ことを意味します。 例えば vid**e**(一見) から vid**a**(見る) を獲得します。
2. 概念が説明である場合、その動詞形式は「その質に変わる」ことを意味します。 例えば nov**i**(新しい) から nov**a**(新しくする) を獲得します。
3. 概念がもの(有機物/無機物)である場合、その動詞形式は「それを適用する」ことを意味します。 例えば hamar**e**(ハンマー) から hamar**a**(ハンマーを打つ) を獲得します。

11.1.3. 名詞を導き出す

‐**e** は名詞の語尾です。

語幹の概念が行動である場合、名詞形は行動の結果を意味します。 例えば kitab**a**(書く) から kitab**e**(書き込み、文章) を獲得します。

概念が説明の場合、その名詞形はその質の具体的な実例を意味します。 たとえば nov**i**(新しい) から nov**e**(新しいもの) を獲得します。

11.3に追加の名詞接尾辞を掲載しています。そちらも参照してください。

11.1.4. 形容詞を導き出す

‐**i** は形容詞と形容動詞の語尾です。

語幹の概念が説明である場合、その形容詞の形は「語根の状態にあるもの」を意味します。 例えば **nov** ‐(新しいことを表す) は nov**i**(新しい) を獲得します。

概念が行動である場合、その形容詞の形は行動によって生成される状態を意味します。 例えば log**a**(話す) から log**i**(口頭の) を獲得します。

概念がもの(有機物/無機物)である場合、その形容詞の形は「語根のようなもの」を意味します。 例えば名詞(以下、語尾のない単語は11.1.5を参照
insan(人間) から形容詞 insan**i**(人間の) を獲得します。

語根が場所を表す単語の場合、その形容詞の形は「その場所からのもの」を意味します。

iran**ia** イラン, iran**i** イランの
pakistan パキスタン, pakistan**i** パキスタンの
amerik**e** アメリカ, amerik**i** アメリカの
europ**e** ヨーロッパ, europ**i** ヨーロッパの
asia アジア, as**i** アジアの

11.1.5. 語尾のない単語

一部の単語には語尾に母音がありません。以下がそのルールです:

- 動詞の語尾は常に ‐**a** か ‐**u** です。
- 形容詞/形容動詞の語尾は大半が ‐**i** です。 最も一般的な形容詞 **bon, mal, lil, day** は例外です。
- 名詞は硬い子音(例: sup**e**, ped**e**, yuk**e**)と子音 群(例: cant**e**, post**e**, zebr**e**)に終わりがありますが、 柔らかい子音(例: **cay, maw, man, fem, hotel**)の後にはありません。 (訳注:意味不明。破裂音等の発音の種類を指しているのだろうか)

例えば「人間」は insan**e** ではなく **insan** を使います。 同様に「良い」は bon**i** ではなく **bon** を使います。 **但し、全ての単語の語尾に母音を使う**
柔らかい母音で終わる名詞の語幹に母音を必要としないのは、作者による芸術的な選択です。

11.2. 複合語

2つ以上の単語を組み合わせて**複合語**を作れます。 最後の単語は複合語で最も意味のある単語であり、 その前に来る単語は最後の単語を修飾する

複合語は語幹(単語から品詞語尾を除外したもの)で構成され、これらは結合母音 ‐**o**‐ によって結合されます。 3つ以上結合する場合も前述のル

例1) kan**o**suy(涙)

```
      kan       (□)
   +  suy       (□)
____________
= kanosuy       (□□□→□)
```

例2) term**o**meter(温度計)

```
     terme      (□□)
   + meter      (□□□□)
____________
= termometer    (□□□)
```

結合される側の単語が母音で始まる場合は ‐**o**‐ を使いません。

```
      dew       (□)
   + iste       (□□□□□□□)
____________
=  dewiste      (□□□□)
```

結合する側の品詞語尾は除外されます。

```
     pace       (□□)
   + iste       (□□□□□□□)
____________
=  paciste      (□□□□□□□□□□□□)
```

11.3. 一般的な接尾辞

11.3.1. -bli 可能性形容詞

可能性を表します。動詞の語尾に連結します。

vida**bli** 表示可能な
vidu**bli** (誰かが)見ることができる

11.3.2. -er 実行名詞/道具名詞

行動を起こす側の名詞を作ります。行動を実行する人、または道具を表します。

log**a** 話す → log**er** 話す人
bek**a** 焼く → bek**er** 焼く人
lid**a** 導く → lid**er** リーダー、先導者
filsof**a** 思慮する → filsof**er** 哲学者
komput**a** 計算する、データ処理する → komput**er** コンピューター
mort**a** 殺す人 → mort**er** 人殺し

派生語は語根とより緩やかに関連付けることができます。

sapat**e** 靴 → sapat**er** 靴職人
musket**e** マスケット銃 → musket**er** 銃士
kas**e** レジ → kas**er** レジを打つ人

11.3.3. -ia 集合名詞/抽象名詞

集合名詞を作成します。 これは語根全体で名前が付けられた要素のグループを示します。 (訳注:学習し初めは能動詞の ‐**a** と紛らわしいが、能動詞が ‐**ia** で終わることはないため、慣れると判別できるようになる)

insan 人間 → insani**a** 人類、グループとしての全ての人間。
krist**i** キリスト教徒の → krist**ia** キリスト教、グループとしての全てのキリスト教徒。
filosof**i** 哲学の、哲学に関する → filosof**ia** 哲学者、知恵の規律。

この語尾は地名、特に国名によく見られます。 但しこの接尾辞は体系的ではないため**必須ではありません**。 ‐**ia** で終わらない国名もたくさんあ

arab**i** アラブ、アラビア人の → arab**ia** アラビア
rus**i** ロシアの、ロシア人の → rus**ia** ロシア
turk**i** トルコ人、トルコの → turk**ia** トルコ
as**ia** アジア

indones**ia** インドネシア
ital**ia** イタリア

また抽象的な名詞の多くは - **ia** で終わります。

nov**i** 新しい → nov**ia** 新しさ、新規
hur**i** 解放された → hur**ia** 自由

行動名詞/道具名詞(-er)の後に追加すると作業場所を表します。

beker**ia** パン屋
fater**ia** 工場
sapater**ia** 靴屋

11.3.4. -is- 使役接尾辞

使役動詞を作ります。

jana 知る
jan**is**a 知らせる
nota 忠告する
not**is**a 通知する

11.3.5. -ist- 傾向接尾辞

特定の方法で行動または思考する傾向があるか、 特定の政治･社会思想、もしくは宗教に従う傾向がある人を表します。

dew 神
dew**ist**e 有神論者(1つまたは複数の神の存在を信じる者)
dew**ist**i 有神論の、有神論的な
dew**ist**ia 有神論(1つまたは複数の神の存在を信じる考え)

11.3.6. -ul- 反意接尾辞

動詞の意味を逆にする動詞を作ります。**否定を意味する単語を作るためのものではありません**。

noda 〜を結ぶ → nod**ul**a 〜をほどく
tapa 差し込む → tap**ul**a 抜く

11.4. 機能語

機能語は単語を複雑な文にまとめるのに役立つ単語で、 新しい単語が追加されることは非常に稀です。 機能語は**内容語**とは定義上異なり、言語構造の外の世界にある物事を指す開かれた語群です。

機能語には以下の特徴があります:

1. 単語は1つの子音と1つの母音で構成されています。
2. 子音は単語の一般的な考え方を示します。
3. 母音は次のような構造的な意味があります:
    - - **e** は代名詞を表します。
    - - **i** は決定詞または修飾子を表します。
    - - **a** は前置詞を表します。
    - - **u** は後置詞を表します。

	概念	-a (形容詞)	-e (名詞/代名詞)	-i (修飾子)	-u (後置詞)
1	一人称代名詞		**me**私	**mi**私の	
2	二人称代名詞		**te**あなた	**ti**あなたの	
3	三人称代名詞		**le**彼、彼女、それ、その人	**li**彼の、彼女の、それの、その人の	
4	再帰代名詞		**ze**(彼/彼女/それ/その人)	**zi**(彼の/彼女の/それの/その人の) 自身の	
5	疑問文		**ke**何?	**ki**どちら?	
6	近指示詞		**ye**これが/これを	**yi**この	
7	遠指示詞		**we**それが/それを	**wi**あの	
8	否定/無	**na**無い		**no**いいえ	**nu**少ない
9	肯定/存在	**sa**〜に、〜で		**si**はい	**su**〜に満ちた
10	所持	**da**〜の			**du**〜の
11	地点	**pa**〜へ			**pu**〜行きの

	概念	-a (形容詞)	-e (名詞/代名詞)	-i (修飾子)	-u (後置詞)
12	起源	**ca**〜から、〜以来			**cu**〜からの、〜以来の

レッスン ———–

自己紹介

対話

⊠ **te si ke?** – あなたは誰ですか?
⊠ **me si yusef. te si ke?** – 私はユセフです。あなたは(誰ですか)?
⊠ **me si maria. le si ke?** – 私はマリアです。あの人は(誰ですか)?
⊠ **le si mi doste.** – あの人は私の友人です。
⊠ **li nam si ke?** – 彼女の名前は?
⊠ **li nam si sarah.** – 彼女の名前はサラです。

文法

通常汎語の文章は話題となる説明の構造に従います。 話題は誰が何について話しているのかを示します。 説明は話題について何かを伝えます。
たとえば **le si mi doste** の場合、話題は代名詞 **le** (彼、彼女、それ、その人) で、 その後に **si mi doste** (私の友人です)
というコメントが続きます。

汎語では **si** という単語は英語の to be のように機能します(訳注:明示的に存在を証明する必要がない限り **si** は必要ありません)。
すべての人に同じ言葉が使われています。 反対のことを言いたいときは **no** (これは no を表す言葉です) に置き換えてください。

le **si** sarah. – 私はサラ**です**。
le **no** sarah. – 私はサラ**ではありません**。

maw **si** hewan. – 猫は動物**です**。
dom **no** hewan. – 家は動物**ではありません**。

同じように **me** と自分を表す言葉を言うことで 自分を表現することができます。

me bon. – **私は**元気です。
me man. – **私は**男です。
me fem. – **私は**女です。

練習

日本語から汎語に翻訳してみてください。 正解は単語リストの後にあります。

1. あなたは誰ですか?
2. 私はケンです。
3. あなたの友人は誰ですか?
4. 彼女はカナエです。
5. あなたの名前は?
6. 私の名前は_____です。

単語リスト

me 私、 **mi** 私の
te あなた、 **ti** あなたの
le 彼、彼女、それ、その人、 **li** 彼の、彼女の、その、その人の
ke 誰、何
si はい、 **no** いいえ、否定
bon 良い、 **doste** 友人、 **nam** 名前
fem 女、 **man** 男
maw 猫、 **hewan** 動物

Answers to the Exercises

1. te si ke?
2. me si ken.
3. ti doste si ke?

4. le si kanae.
5. ti nam si ke?
6. mi nam si _____

あいさつ

salam – こんにちは

これが汎語での挨拶です。 **salam** と言います。 あいさつと別れのあいさつをするときに使います。

salam – さようなら

salam は「あいさつ」という意味です。 元はアラビア語で「平和」という意味で、世界の多くの地域、 特にアフリカやアジアでは一般的なあい
汎語は世界のあらゆる地域から言葉を借用して構築された人工言語(国際補助語)です。

salam の動詞形は **salama** で「あいさつする」という意味です。

me salama te. – 私はあなたにあいさつします。
te salama me. – あなたは私にあいさつします。

これらは能動文で、主語が目的語に 作用します。 **me salama te** では、 最初の単語 **me** が **主語**、 **salama** が **動詞**、 **te** が**目的語**です。

語順はS(主語)+V(動詞)+O(目的語)

汎語の代表的な人称代名詞は **me** – 私、 **te** – あなた、 **le** – 彼/彼女/それ/その人、です。 上記のあいさつの例文では全て同じ単語であったことに注
汎語では人称代名詞は文のどの位置にあっても同じままです(訳注:所有格(私の～ **mi**)では変化します)。 誰が発言したか明らかな場合、人称代名

me salama te! – 私はあなたにあいさつします。
salama te! – あなた、こんにちは: あいさつをしているのは相手です。
salama! – こんにちは(とあいさつする): 相手があいさつしています。 (訳注:適切な訳が思いつかない)
salam! – こんにちは

salam te は名前、親族用語、 職業などを使って人を呼ぶときに便利です。

salam ken! – やあ、ケン。
salam mame! – こんにちは、お母さん。
salam pape! – こんにちは、お父さん。
salam darsogure! – こんにちは、先生。

汎語にはもう一つ **halow** というあいさつがあります。 これは非常に国際的なあいさつです。 あいさつするときにどちらを使うかは完全に自由で

halow! – ハロー(こんにちは)

練習

日本語から汎語に翻訳してみてください。 正解は単語リストの後にあります。 (訳注:ページ内の整合性がとれていないため、修正しています)

1. あなたは彼/彼女/それ/その人にあいさつします。
2. 母は父に挨拶します。
3. こんにちは、お母さん。
4. さようなら

単語リスト

salam, halow こんにちは、やあ
salama あいさつする
mame 母、お母さん、ママ
pape 父、お父さん、パパ
darsogure 教師、先生

練習の答え

1. te salama le.
2. mame salama pape.
3. salam mame!
4. salam!

要求する

対話

⊠ **salam!** – こんにちは。
⊠ **salam! pliza sida.** – こんにちは、おかけになってください。
⊠ **danke.** – ありがとうございます。
⊠ **pliza niama kafe o cay.** – コーヒーとお茶、どちらになさいますか。 (訳注: **cay** はお茶全般を指します。紅茶も緑茶も烏龍茶もマテ茶も全部 **cay** です。特定の1つを指すにはコーヒー共々修飾語で補う必要がありますが、このページでは扱いません)
⊠: **me niama cay. danke.** – お茶をください(ありがとう)。
…
⊠ **pliza salama ti mame!** – お母様によろしく言っておいてください。
⊠ **me salama le. salam reste!** – (かしこまりました、)伝えておきます。では。
⊠ **salam cute!** – さようなら。

文法

汎語は男女の区別をしない言語のため、 (人称)代名詞にもそれはありません。 以下の例文には 全ての人称代名詞が 使われています。

me pliza te salama le. – **私**は**あなたに**、**彼/彼女/それ/その人**へあいさつをお願いします。

この文は**依存文**です (直訳すると「依存構造」ですが、物々しいので平易な表現に改めています)。 最初の動詞 **pliza** は **te** を目的語とします。 同時に **te** は2つ目の動詞 **salama** の主語でもあり、その目的語は **le** です。 つまり **te** には「第1動詞の目的語」と「第2動詞の したがって **te** は2つの動詞間の「依存」あるいは「連結」する存在となります。

依存文: S(主語1) + V1(動詞1) + O1&S2(目的語1&主語2) + V2(動詞2) + O2(目的語2)

依存文は汎語の一般的な文です。

文脈から明らかな代名詞を省略できることを忘れないでください。 話者は相手が誰のことを話しているのか知っていると、安心して考えることができます。 このようにして文を短くすることができます。

me pliza te salama le. – 私はあなたに、彼/彼女/それ/その人へあいさつをお願いします。
pliza salama le. – 彼/彼女/その人へあいさつをお願いします。

pliza salama le は 丁寧なお願いをするときに役立つフレーズです。 **pliza sida.** – 座ってください。
pliza dona kafe. – コーヒーをください。
pliza dona cay. – お茶をください。
pliza niama cay. – お茶をどうぞ。
pliza safa kamare. – 部屋の掃除をお願いします。

命令は **komanda**(命令する) で表します。 以下の命令文は **plisa** と同じ依存文を採用しています。

komanda dona cay. – お茶をくれ。
komanda safa kamare. – 部屋を掃除して。

実際には直接的な命令も 動詞1つと命令する声だけで行うことができます。

safa le! – 掃除しろ!

練習

日本語から汎語に翻訳してみてください。

1. 彼はお茶を飲みます。
2. 先生は彼女に座るように言います。
3. コーヒーかお茶をください。
4. 母から私は部屋を掃除するよう頼まれた。
5. 先生は座るとコーヒーを飲んだ。

単語リスト

cay お茶 (訳注:前述通り、厳密にはお茶全般を指します)
pliza お願いする、頼む
dona 与える、渡す
danke ありがとう

e と(and)
kafe コーヒー
kamare 部屋
komanda 命令する、注文する
o または(or)
safa 掃除する、きれいにする
sida 座る
niama 食べる、飲む (訳注:飲食行為全般を指します。飴を「舐める」、ガムを「噛む」なども含みます)

練習の答え

1. le niama cay.
2. darsogur pliza le sida.
3. pliza niama kafe o cay.
4. mame pliza me safa kamar.
5. darsogur sida e niama kafe.

「はい」「いいえ」の質問

対話 (訳注:日本向けに大幅な意訳と補完を行っているので注意)

⊠: **salam! eska te niama kafe o cay?** – いらっしゃいませ! コーヒーと紅茶どちらになさいますか?
⊠: **cay.** – お茶を。
⊠: **e te?** – あなたは?
○: **me no baxa panlingue...** – 私は汎語を話せません... (訳注:「話してるじゃん」とツッコミを入れてはいけない)
⊠: **pardon! eska le niama cay?** – すみません。彼もお茶でよろしいでしょうか?
⊠: **no. le no niama cay. le niama kafe.** – いえ、彼は(お茶を飲みません。彼は)コーヒーです。
⊠: **eska te niama supe?** – スープはいかがでしょう?
⊠: **si, niama.** – お願いします(–はい、私は飲みます)
⊠: **eska le niama supe?** – 彼もスープを飲みますか?
⊠: **no niama.** – いいえ(–彼は飲みません)
⊠: **danke. me dona un cay e un kafe e un supe sa bade da des minute.** – かしこまりました。復唱します。コーヒー1、お茶1、スープ1。10

質問する

「はい」「いいえ」で答えられる質問は、 前回のレッスンで学んだ **pliza** と同じ**依存文**(S1+V1+O1&S2+V2+O2)になっています。
質問文は **eska**(尋ねる、質問する) を使います。この文は基本的に主語1を省略できます。

me eska te niama cay. – 私はあなたに「お茶を飲みますか」と尋ねます。
eska te niama cay? – (あなたは)お茶を飲みますか?
eska niama cay? – お茶を飲みますか?

通常、質問は相手や話しかけられた人に関するものですが、 対象は他の物や人に関する場合が多いです。 そのため基本的に2つ目の主語(S2)が必
誰(何)が話題なのかはっきりしている場合のみ省略することができます。

eska le niama cay? – 彼/彼女/その人はお茶を飲みますか?
eska te niama supe? – (あなたは)スープを飲みますか?
eska mome niama suy? – (私達は)水を飲みますか?

もちろん普通名詞や固有名詞も使えます。

eska dorsogur niama kafe? – 先生はコーヒーを飲みますか?
eska pape safa kamare? – 父は部屋を掃除しますか??
eska niki baxa panlingue? – ニキ(あるいはニッキー。人の名前)は汎語を話せますか?

回答する

「はい」「いいえ」の質問には **si**(はい)、 **no**(いいえ) で答えることができます。

– **eska te niama supe?** – (あなたは)スープを飲みますか?
– **si.** – はい。
– **eska le niama supe?** – 彼はスープを飲みますか?
– **no.** – いいえ。

– **eska te niama kafe?** – (あなたは)コーヒーを飲みますか?
– **si. me niama kafe.** – はい。私はコーヒーを飲みます。
– **eska le niama kafe?** – 彼はコーヒーを飲みますか。
– **no. le no niama kafe.** – いいえ。彼はコーヒーを飲みません。

質問文の要となる動詞を返すことで「はい」を表現することもできます。

– **eska te niama suy?** – (あなたは)コーヒーを飲みますか?
– **niama.** – (はい、私は)飲みます。

練習

日本語から汎語に翻訳してみてください。

1. あなたは汎語を話せますか?
2. はい。私は汎語を話せます。
3. お母さん、コーヒー飲む?
4. ううん、私はコーヒーは飲まないわ。
5. 彼/彼女/その人はスープを飲みますか?
6. 彼/彼女/その人は飲みません。

単語リスト

bade その結果、前に、続報
pardon すみません、ごめんなさい
minute 【時間】分
no いいえ、否定
baxa 言語を話す
suy 水 (訳注:温度は問わない。必要なら修飾語で補う必要があるが、このページでは扱わない) **supe** スープ
un 【数】1
des 【数】10
eska 尋ねる、質問する
si はい

練習の答え

1. eska te baxa panlingue?
2. si. me baxa panlingue.
3. eska mame niama kafe?
4. no. me no niama kafe.
5. eska le niama supe?
6. (le) no niama.

---

no と言う

前回のレッスンでは質問に **si** と **no** で答えることを学びました。 何かを否定するときには **no** を使います。 動詞の前に **no** を置くと、肯定文が否定文に変わります。

me salama te. – 私はあなたにあいさつします。
me **no** salama te. – 私はあなたにあいさつしません。

否定とは、否定された対象が欠けているか、存在しないことを表します。 **me no salama te** では **no** は あいさつの存在を否定します。

汎語の否定はそれに続く単語に影響を与えます。 否定の範囲は **no** の位置によって変わります

me pliza te safa kamare. – 私はあなたに部屋の掃除を頼みます。
me **no** pliza te safa kamare. – 私はあなたに部屋の掃除を頼みません。
me pliza te **no** safa kamare. – 私はあなたに部屋の掃除をしないことを頼みます。

否定される側の単語の品詞には動詞、代名詞、名詞、形容詞、さらには数字など、 あらゆる種類があります。

le no tena maw. – 彼/彼女/その人は猫を飼っていない。 (訳注: tena maw–猫を所有する–猫を飼う)
le tena no maw, a waf. – 彼/彼女/その人は猫を飼っていないが、犬を飼っている。
no le, a me tena maw. – 彼/彼女/その人ではない、しかし私は猫を飼っている。 (訳注:意味不明。多分 I, not he, have the cat.

「彼ではなく私が猫を飼っている」だと思う)
me tena no un, a dul maw. – 私は猫を1匹ではなく2匹飼っています/私は猫を1匹どころか2匹も飼っています。 (訳注:どちらの意味にも取れる)

練習

日本語から汎語に翻訳してみて下さい。 問題によっては回答が複数あります。

1. 彼/彼女/その人は部屋を掃除しません。
2. 1つのコップは空ではありません。
3. 2匹の犬はスープを飲まない。
4. 彼/彼女/その人は猫も犬も飼っていません。
5. 先生はお茶を飲んだがコーヒーは飲んでいない。
6. 母は犬を飼っていないが猫は2匹飼っている。

単語リスト

kupe コップ、グラス、マグカップ
hali 空の
tena 持っている、所持している、所有している
maw 猫 **waf** 犬 **dul** 【数】2 **nol** ゼロの、【数】0
a だが、しかし

練習の答え

1. le no safa kamar.
2. un kupe no hali.
3. dul waf no niama supe.
4. le no tena waf e maw. / le tena no waf e no maw.
5. darsogur niama cay a no kafe.
6. mame tena no waf a dul maw.

5W1Hの質問

通常5W1H(いつ、どこで、だれが、なにを、なぜ、どのように)の質問には 質問代名詞 **ki** を使います。 必要に応じて人、時間、方法、物などの
質問をより具体的にすることができます。

le si **ke**? – それは**何**ですか? または 彼/彼女/その人は**誰**ですか?
ki ren laya? – どの人が来ますか?(–**誰**が来ますか?) (**ren** 人)
ki zaman te niama? – (あなたは)**いつ**食べますか? (**zaman** 時間)
ki manire dansa? – **どのように**踊りますか? (**manire** 振舞い、態度、マナー)
ki loke te sona? – (あなたは)**何処で**寝ますか? (**sona** 寝る、眠る)

「なぜ〜ですか」の 質問には **ke saba** を使います。 (訳注: **saba** 〜の原因となる、〜をもたらす)

ke saba te suku maw? – **何故**あなたは猫が好きなのですか?

何かの原因や理由を尋ねる質問には、 原因や理由の前に **sabu** を付けて答えます。 **sabu** は実際には受動詞で、 「〜によって引き起こされる」と

ke saba te suku maw? – **何故**あなたは猫が好きなのですか?
sabu lole kaway. – **何故なら**(それらが)可愛いからです。

もちろん **sabu** は 単に理由や原因を表現するときにも使えます。

me suku maw **sabu** lole kaway – 私は(それらが)可愛いから猫が好きです。

練習

1. スープが好きなのは誰ですか?
2. 父が好きです。
3. いつ来ますか?

4. 10分後に。 (訳注:回答にまだ学習していない内容を含んでいます。この問題は飛ばして、このレッスン終了後に文法で学習を終えてから戻
5. 何故彼/彼女/その人は食べないのですか?
6. 何故ならコーヒーやスープが嫌いだからです。

単語リスト

dansa 踊る
laya 行く、来る
ren 人
suku 好き(like)
manire 振舞い、態度、マナー
bade その後
minute 【時間】分

練習の答え

1. ki ren suku supe?
2. pape suku.
3. ki zaman le laya?
4. sa bade da des minute. (訳注: **sa** は前置詞「〜に」で、まだ学習していない)
5. ke saba le no niama?
6. sabu le no suku kafe o supe.

過去、現在、未来 (時制)

時間を表現する

汎語の動詞には活用がありません。どの時制でも単語は同じです。 時制を表すには時制を表す形容詞(時制詞)を動詞や名詞の前に置きます。
pase – 過去
zaye – 現在(進行)
wile – 未来

sarah si mi **pasi** doste. – サラは私の友人**でした**。
yusef si mi **zayi** doste. – ユセフは私の**現在の**友人です。
maria si mi **wili** doste. – マリアは私の友人**になるでしょう**。

時間内の行動や出来事を語るときにも時制詞を使います。 動詞の前に単語を置くだけです。

me **paso** darba le. – 私はそれを叩き**ました**。 (過去)
me **zayo** darba le. – 私はそれを叩い**ています**。 (現在進行)
me **wilo** darba le. – 私はそれを叩く**でしょう**。 (未来)

時制詞を文末に置くこともできます。この場合、時制詞は副詞として文全体を修飾します。

me darba le **paso**. – 私は**前に**それを叩きました。
me darba le **zayo**. – 私は**今**それを叩いています。
me darba le **wilo**. – 私は**いずれ**それを叩くでしょう。

sa pase(過去に) などの長いフレーズを使うことも可能です。 (訳注: **sa** [前置詞] 〜に)

me darba le **sa pase**. – 私は**以前**それを叩きました。
me darba le **sa zaye**. – 私は**現在**それを叩いています。
me darba le **sa wile**. – 私は**将来**それを叩くでしょう。

時制表現は通常一度言えばすむはずです。時制が変わるか、時制を強調する必要がある場合を除いてそれで問題ありません。

me **paso** tena un maw. – 私は**かつて**(1匹の)猫を飼っていました。
le bon maw. – その猫は良い猫でした。 (過去の猫のことを語っているので過去形)
me tena un waf **zayo**. – **今は**(私は1匹の)犬を飼っています。 (話が現在のことに変わっている)

練習

辞書を引きつつ、日本語から汎語に翻訳してみてください。 (訳注:くどいですが「〜に」は前置詞 **sa** を目的語の前に置きます)

1. 先生が将来私を祝福してくれる
2. 私は以前2匹の犬を飼っていました。
3. あなたは今スープを飲んでいます。
4. 彼/彼女/その人は昨日部屋の掃除をしました。
5. その猫は明日コーヒーを飲むでしょう。 (訳注:猫にカフェインを摂取させてはいけません。下手をすると**死にます**)
6. あなたの母は昨夜パーティを開きました。

単語リスト

paso 過去、前
zayo 現在、今
wilo 未来
darba 打つ、叩きのめす
pang パン
suboniame 朝食

練習の答え

1. mi darsogure festa sa wile.
2. me tena dul waf sa pase.
3. te niama supe zay.
4. le safa kamare sa predi den.
5. maw niama kafe sa badi den.
6. ti mame festa sa predi noce.